

# 大治町一般廃棄物処理基本計画 概要版

～大治町のごみの減量化について～

本町は、名古屋市に隣接している地理的条件と交通手段の利便性から、急激な人口増加に伴い、年々ごみ排出量が増大しています。そのため年間約6千tものごみが排出され、その処理に約3.4億円の経費をかけています。

ごみの減量は一人ひとりができる社会貢献になります。ごみの分別を徹底し、ごみをできるだけ少なくするようご協力をお願いします。



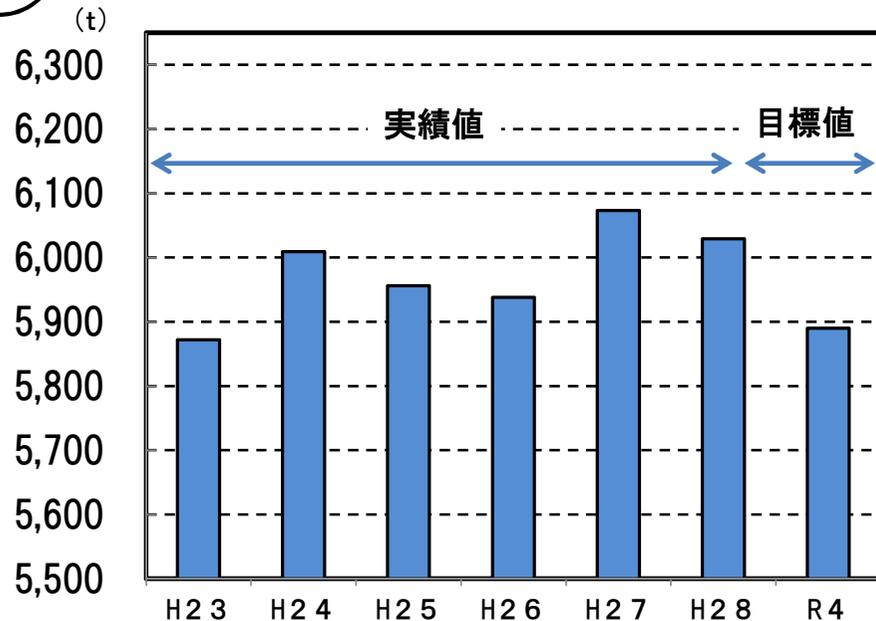
## ごみ処理基本計画の目標

趣旨

大治町では、平成25年度に「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を策定し、令和4年度を目標としたごみ減量計画を策定しました。さらに、平成30年度にはごみ処理基本計画を見直し、さらなる減量に取り組んでいます。

目標

一般廃棄物(ごみ)処理計画における目標  
年間のごみ排出量(資源物を除く)を令和4年度に5,890tへ



## 計画の基本方針

ごみの減量化には、住民、事業者、町の各主体が様々な角度から取り組んでいくことが必要です。

このことを踏まえて、大治町における減量化のための基本方針を以下のように定めています。

**混ぜればごみ 分ければ資源 分別先進地を目指そう！！**  
**MOTTAINAIからはじめよう！！**

「**おおはる 086 ごみダイエット作戦**」  
町民1人当たり、1週間で86グラムの減量を！！

### ●古紙

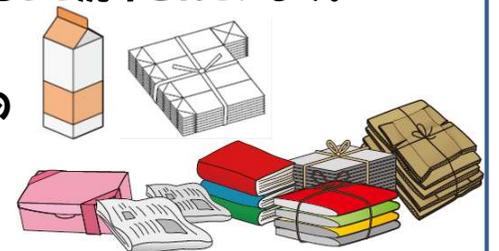
資源化できる紙類が、可燃ごみとして焼却されています。

[減量方法]

新聞、雑誌、雑紙、段ボールなどの

古紙の分別を徹底し、役場前の  
資源回収拠点<MOTTAINAI>か

お住いの地区の集積場所に指定の資源収集日に出してください。



### ●生ごみ

家庭から排出される可燃ごみの約3割は生ごみです。

[減量方法]

①生ごみの水切りを徹底

生ごみの水分を切ることで、効率的に減量できます。

②食品ロス(食べ物のムダ)削減

食べ残しや賞味期限切れの手付かずの食品を減らすためにも、買いすぎに注意したり、献立を工夫しましょう。

